



令和3年11月9日

研究主題 「学ぶこと・考えることを楽しむ」

～自分の考えをもち広げ深める力の育成：「考えの形成」を促す指導法の工夫～



令和3年11月9日(火)、今年度最初の校内研究授業を行った。今回の教科は国語。2年2組 木村かなえ教諭が『せつめいのし方に気をつけて、おもちゃの作り方をせつめいしよう』、5年1組、福田淳佑教諭が、『カイロ団長日記』を行った。

木村教諭は「馬のおもちゃの作り方」で学んだ説明を使って、「スーパーロケット」の説明書を書く学習であった。説明書を書くために必要な順序を表す言葉「まず」「つぎに」「それから」

「これで」「さいごに」をしっかりと確認しながら丁寧に進め、子どもたちは自分なりの言葉で説明書を書き始めた。最後には友達の説明書を鑑賞し合うことで自分の説明書を振り返ることが出来て、良い所を参考にしながら仕上げていくことが出来ていた。

福田教諭は第5場面を取り上げ、登場人物のカイロ団長の日記(4日目)を考える学習であった。福田教諭からの「この日は、カイロ団長にとってどんな日だったのだろう」という発問に子どもたちは、叙述をもとにカイロ団長の心情を考え、自分の意見を構築した。その後、相互指名で意見を述べ合いながらカイロ団長の心情について怒りや後悔など様々な意見が出たのを福田教諭が板書でまとめ上げ、さらに子どもたちの思考の時間が深まっていった。



研究協議会では、小平市立第十小学校の井上 陽童先生を講師としてお招きし、授業と協議会の指導・講評をいただいた。

講評では、本時の学習と協議会を振り返りながら、二人の実践を基に深い学びに向けて、さらに子どもたちへ求めたい力をそれぞれお話しいただいた。木村教諭では、話して伝えることと、書いて伝えることへの違いを子どもたちが意識するか

どうか。また、福田教諭では、参加者のスタンスから見物人的スタンスへどのように橋渡しをするか。など様々お話しいただいた。今回教えていただいたことを、これからの授業に生かし、今後の校内研究をよりよいものにしていきたい。

